

ほかふれフェスタ参加団体訪問記



「NPO法人 れんきょう」を訪ねて



「れんきょう」さんは毎年恒例の秋、冬「ほかふれフェスタ」の実行委員長を「れんきょう」と「ボラ協」の会長が交代で引き受けて開催しています。市の障がいへの理解を進める情報発信サイトである「わーくる」のホームページに依ります「れんきょう」の主権開始は平成14年から続いて今年で18年目となります。



仕事中の安部さん(手前) 奥は座間さん。



障がい児者や障がいに対する社会的理解を深める普及・啓発事業など、また就労などの様々な援助事業を行っています。

「れんきょう」は任意団体「相模原市障害児者福祉団体連絡協議会」が平成27年「NPO法人 れんきょう」となり呼び方も変わりました。短く呼び易くなったので「わーくる」親しみを感じられますね。そんな訳で何かと「れんきょう」さんとは接する機会が多く、その割にはお話を伺う機会が無く、今まで来ておりました。昨年の2月には創立30周年を迎えられ式典が開催されました。「れんきょう」の構成は11団体「及び、肢体障がい、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、精神障がい等のさまざまな障がい児者や障がいに対する社会的理解を深める普及・啓発事業など、また就労などの様々な援助事業を行っています。



あじさい会館4階 事務局入口



* 「NPO法人れんきょう」事務局
〒252-0236
相模原市中央区富士見6-1-20
あじさい会館 4階福祉団体室
(電話・ファックス) 755-5282

毎月のぼらんていあ通信の発行時に使っている会館の4階の作業室の隣が「れんきょう」さんの事務局です。月曜日から金曜日は安部さんと座間さんの2人が事務員としておられます。
安部博之さんは「ほかふれ」以外にボランティア大会などでもボランティアとしてお目にかかったりして顔馴染みでしたが、今回初めてお話を伺うことが出来ました。
安部さんは「れんきょう」に平成20年5月に松が丘園の就労援助部門から紹介を受けてあじさい会館の事務局に就職され、もう10年以上となります。しかも「れんきょう」の笑顔と「ぼらんていあ通信」の私たちとはそれ以来の長い付き合いになっていきます。小田急相模原から通勤していらっしゃるという、お元気でこれからも活躍ください。
「じい」はボラ協の前理事で「れんきょう」の現会長の鈴木さんとも久しぶりにお会いでき、和やかにお話が伺えました。(三十尾・小林)

福祉車両の運転に携わる

杉崎 久子



福祉車両の運転に携わって約7ヶ月、運行回数もやっと10回を超えたという新しい新米会員の杉崎久子です。毎回非常に緊張しながらも、協会事務局の方やハンディキャップの運転手の皆さんの行き届いたアドバイスや励まし、利用者の方々の感謝や温かな言葉に支えられ、活動を続けています。

福祉車両との出会いは従兄弟が車椅子の叔母をハンディキャップに乗せて母の見舞いに来たことでした。その後「ボランティア講座」の募集を見て、運転ボランティアのことが知ったのです。当初はじめて母を連れて出たいという気持ちだったのですが、運転資格を取るまで親身に面倒を見ていただき、せっかくの資格、運転手も不足と聞き、少しでも役に立てたらと思い申しました。

運転歴は長くても人を乗せて運転するという責任の重い仕事はじめてきなうと思っていたのですが、協会の先輩方の指導や資格取得の講座を通して運転自体への考え方も変わり、運行の時だけでなく普段の運転もとても慎重になりました。また、事前に利用者のお宅や送迎先への経路を、携帯マップや実地であれこれ調べたり、送迎中の話題を考えたりの場合は案外楽しいものです。創設から「無事故」を誇るHC事業の名を汚さぬようこれからも安全運転で頑張りたいと思います。

現在、音訳ボランティアも講習を終えることができ、4月以降「ドライバー」の予定です。今後とも多方面で「指導のほうへ」願っています。

